

## 細胞部門

### 精度管理事業委員

佐藤 初代

豊川市民病院

TEL (0533) 86-1111

### 実務委員

須藤 健助	藤田保健衛生大学病院
坪井 丈典	名古屋衛生検査センター

## 細胞検査の精度管理調査

### 【はじめに】

平成11年度の愛臨技細胞検査のサーベイとして、昨年同様のフォトサーベイを実施した。設問は日常業務でよく遭遇する検体として婦人科、呼吸器、乳腺、消化器のほか脳腫瘍、リンパ節、日常あまり遭遇する事の少ない小児リンパ節など計8題とし、より鮮明なA Colorコピーを使用した。以下その設問、解答・解説、まとめ等について示す。

### 【細胞検査フォトサーベイ】

設問は8問、各設問に2枚のフォトがあります。

各設問について選択肢の中から最も適当と思われるものを1つ選んで解答用紙の番号に○印を付けて下さい。

【設問1】 50歳、女性 子宮頸部擦過

- |          |         |         |
|----------|---------|---------|
| 1、扁平上皮化生 | 2、修復細胞  | 3、軽度異形成 |
| 4、扁平上皮癌  | 5、老人性膣炎 |         |

【設問2】 63歳、男性 喀痰

- |         |         |         |
|---------|---------|---------|
| 1、組織球   | 2、腺様嚢胞癌 | 3、杯細胞増生 |
| 4、肺胞上皮癌 | 5、粘表皮癌  |         |

【設問3】 65歳 男性 喀痰（集団検診、BI 1000）

- |            |              |            |
|------------|--------------|------------|
| 1、軽度異型扁平上皮 | 2、中等度異型扁平上皮  | 3、高度異型扁平上皮 |
| 4、腺癌       | 5、扁平上皮癌（早期癌） |            |

【設問4】 30歳 女性 右乳腺穿刺

- |          |           |         |
|----------|-----------|---------|
| 1、乳管内乳頭腫 | 2、線維腺腫    | 3、乳頭腺管癌 |
| 4、硬癌     | 5、アポクリン化生 |         |

【設問5】 77歳 男性 胆汁

- |        |          |             |
|--------|----------|-------------|
| 1、腺癌   | 2、扁平上皮癌  | 3、胆石による良性異型 |
| 4、未分化癌 | 5、腺扁平上皮癌 |             |

【設問6】 68歳 女性 脳腫瘍スタンブ

- |         |          |         |
|---------|----------|---------|
| 1、髓芽細胞腫 | 2、神経芽細胞腫 | 3、膠芽細胞腫 |
|---------|----------|---------|

- 4、星膠細胞腫                      5、ホジキン病

【設問7】    2ヵ月  女児  頸部リンパ節スタンプ

- 1、Histiocytosis X              2、非ホジキンリンパ腫              3、ホジキン病  
4、伝染性単核症              5、壊死性リンパ節炎

【設問8】    28歳  女性  頸部リンパ節スタンプ

- 1、B細胞性リンパ腫              2、T細胞性リンパ腫              3、ホジキン病  
4、非特異性リンパ節炎              5、壊死性リンパ節炎

### 【細胞検査フォトサーベイの解答と解説】

【設問1】    答え    1、扁平上皮化生

核は若干の濃染傾向を示すものの、細胞質は肥厚し細胞間橋を思わせる細胞質突起を有し、N/C比は小さい。老人性腺炎では旁基底細胞が中心の細胞構成となり、また扁平上皮癌とするにはクロマチンパターンの差がみられない事から扁平上皮化生とするのが妥当と思われる。

【設問2】    答え    4、肺胞上皮癌

腺様嚢胞癌では集塊の中心に粘液塊を含み、杯細胞増生では粘液を有する杯細胞と共に線毛を有する線毛円柱上皮が混在する。しかしこの症例では線毛円柱上皮は混せず、細胞質に粘液を含み比較的小型ながら核形不整、核小体の目立つ単一の粘液産生細胞からなことから肺胞上皮癌と考える。

【設問3】    答え    5、扁平上皮癌（早期癌）

この症例では高度異型扁平上皮と扁平上皮癌（早期癌）との鑑別が難しいところである。この場合、細胞質の光輝度が高い事と背景の壊死細胞が鑑別点となり、扁平上皮癌（早期癌）とするのが妥当と思われます。

【設問4】    答え    2、線維腺腫

管内乳頭腫は乳頭状の集塊で胞体は厚く、突出する細胞には比較的豊富な胞体を有する。この症例では結合の強い平面的配列の上皮細胞集塊と背景には裸核を認める。上皮細胞の表面には筋上皮細胞が見られる事から線維腺腫と考える。

【設問5】    答え    5、腺扁平上皮癌

左には核形不整、重積性を示す細胞集塊と右には細胞質が広く、一部に角化を示しクロマチン粗く増量、多核、相互封入を示す細胞が独立して存在する。前者は腺癌の后者は扁平上皮癌の特徴を有し、これらが混在する事から腺扁平上皮癌と考えある。

【設問6】    答え    3、膠芽細胞腫

髓芽細胞腫・神経芽細胞腫は一般に小児の腫瘍で、N/C 比大の小型均一な腫瘍細胞が散在性一部ロゼット様配列を呈し、星膠細胞腫は異型度（I～IV）にもよるが小型で細胞質突起に富み、星状を呈する。ホジキン病では一般に多数の小型成熟リンパ球に混じり大型の単核ないし多核の細胞を認める。この症例では大小不同、核形不整が目立つ腫瘍細胞で占められ、大型の腫瘍細胞も混在する事から膠芽細胞腫と考える。

【設問 7】 答え 1、Histiocytosis X

Histiocytosis X 細胞は皮膚表皮内の Langerhans 細胞（L 細胞）に由来する病変であり、電顕で birbeck 顆粒が見出される。この症例は Histiocytosis X のなかの Letterer-Siwe 病の症例で、リンパ球と共に核は類円または腎形で、クロマチンは繊細、しばしば核溝構造を示す L 細胞を認める。伝染性単核症は EB virus が原因で多彩な像を示すがやはり小型リンパ球が大部分を占め、組織球との関連はない。

【設問 8】 答え 5、壊死性リンパ節炎

非ホジキンリンパ腫のリンパ球は中ないし大型あるいはそれらの混合型で、非特異性リンパ節炎では小型のリンパ球が主体であるが壊死は存在しない。これらに対し壊死性リンパ節炎では小型のリンパ球が主体でそこに赤血球や細胞の破壊物やそれを貪食した組織球を認める。

【まとめ】

1. 平成 11 年度精度管理調査細胞部門に応募のあった施設は 55 施設、うち回答のあった施設は 53 施設（96.3%）であった。
2. サーベイ回収結果について（表 1、グラフ 1）
  - a) 回答結果は（表 1）に、正解と施設数は（グラフ 1）にまとめた。
  - b) 平均正解率は 6.81 問（85.1%）であり、正解率は良好であった。
  - c) 日常業務でよく経験される設問 1、2、3、4 や設問 6 では 8 割を超える良好な正解率であった。
  - d) 設問 5 は今回最も正解率が低く（71.7%）、扁平上皮癌の特徴を把握出来なかったものと思われるが、ほとんどの施設で癌（陽性）と判定出来ていた。
  - e) 設問 7、8 は同じリンパ節検体であるが、日常あまり経験しない小児リンパ節（設問 7）の正解率がやや低かった（75.5%）。リンパ節問題においての不正解は選択肢の各々の良悪性疾患がよく理解出来ていないものと思われた。
3. アンケートについて（グラフ 2～4、表 2・3）
  - a) 今回のサーベイでは画像の解像度を考慮して実施したが、6 割以上で良いと答えており、まあまあと答えた施設を加えると 9 割に達した（グラフ 2）。
  - b) 診断については正解率（85.1%）に比し難しいと感じた施設がやや多かった（グラフ 3）。
  - c) 細胞検査士（CT）の数と正解設問数との関係を（グラフ 4）と（表 2）に示すが、人数が多い方が正解率が高い傾向にあった。
  - d) 細胞診指導医については、指導医が常勤している事が望ましいが現状は（表 3）の様で常

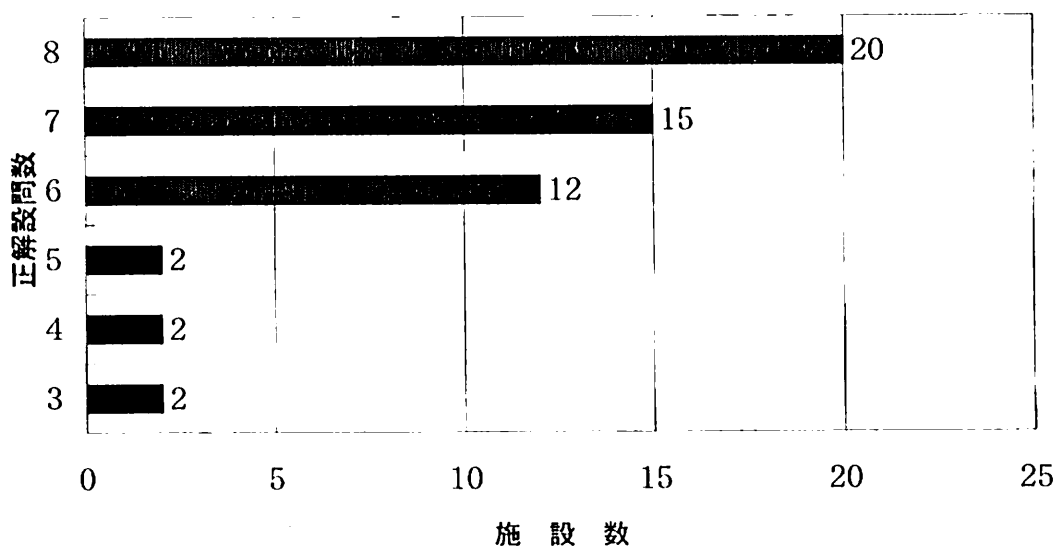
勤施設は 45%であった。

表 1、サーベイ回収結果 (回答施設数 53)

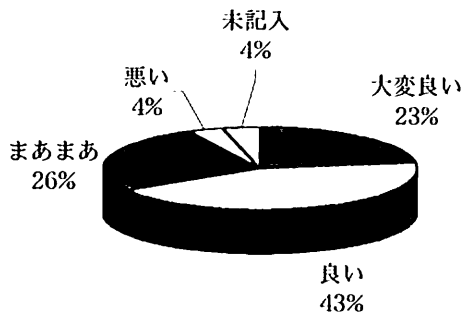
	正解	選 択 肢 番 号				
		1	2	3	4	5
設問 1	1	46 (86.8)		5 (9.4)		2 (3.8)
設問 2	4		1 (1.9)	1 (1.9)	49 (92.4)	2 (3.8)
設問 3	5			7 (13.2)		46 (86.8)
設問 4	2	2 (3.8)	51 (96.2)			
設問 5	5	11 (20.7)		2 (3.8)	2 (3.8)	38 (71.7)
設問 6	3	1 (1.9)	1 (1.9)	47 (88.7)	4 (7.5)	
設問 7	1	40 (75.5)	5 (9.4)		8 (15.1)	
設問 8	5	2 (3.8)	1 (1.9)		6 (11.3)	44 (83.0)

平均正解数 6.81 問 (85.1%)

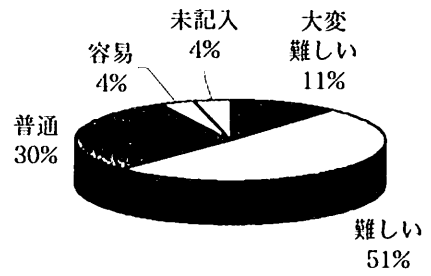
グラフ 1、正解数と施設数



グラフ2、画像について



グラフ3、診断について



グラフ4、CT数と正解数

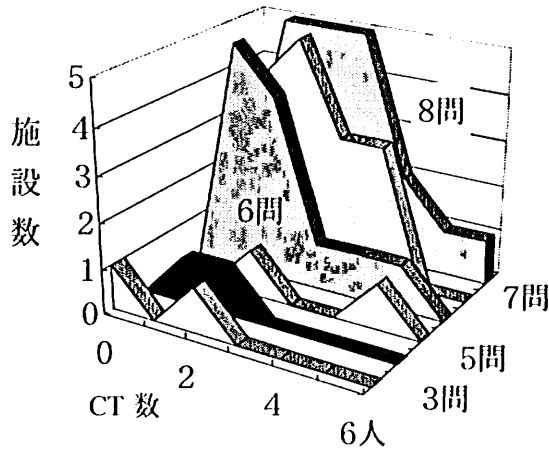


表2、細胞検査士 (CT) 数と平均正解設問数

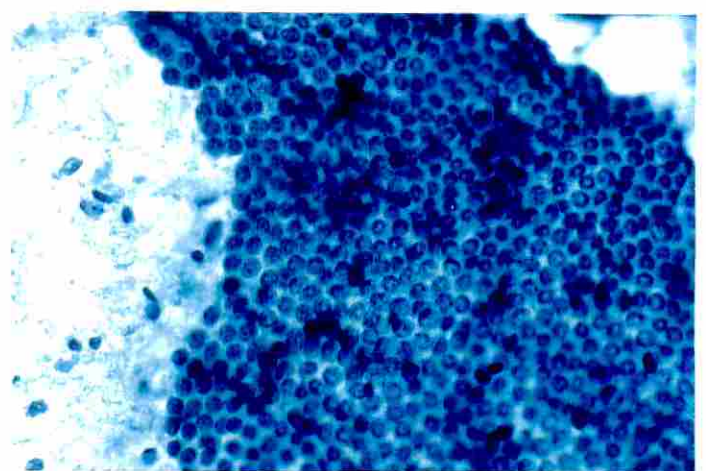
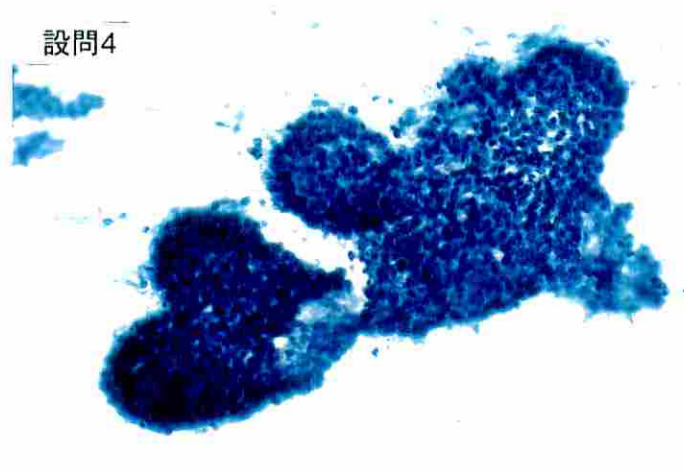
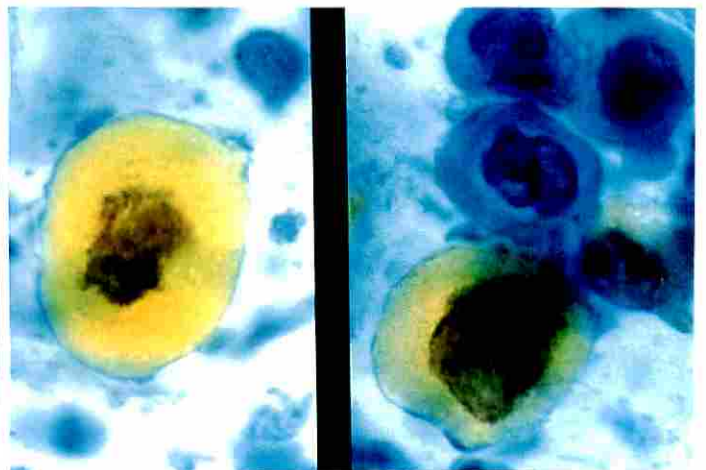
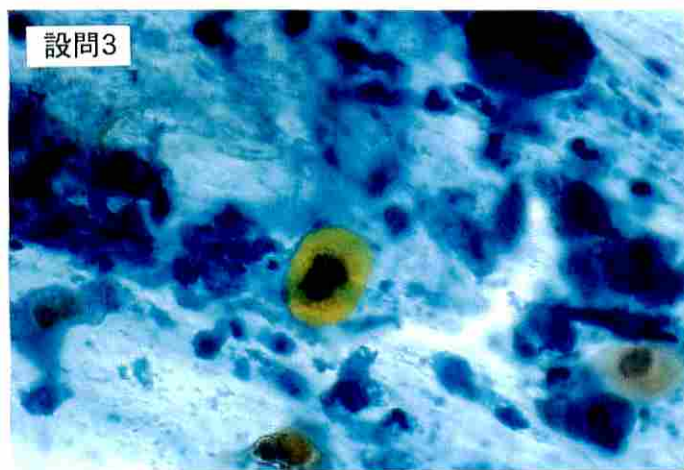
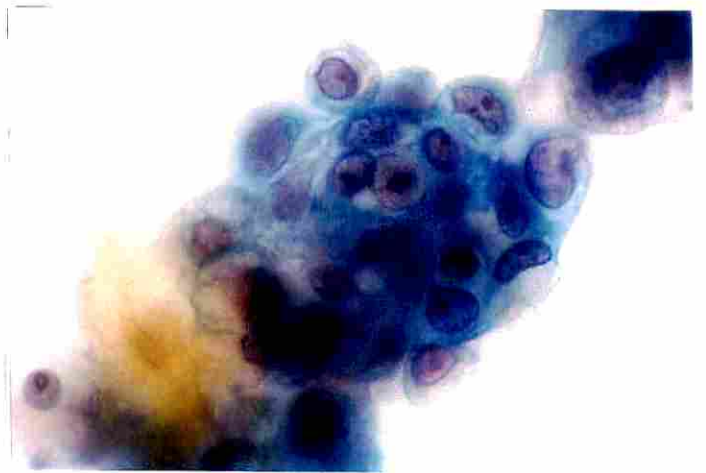
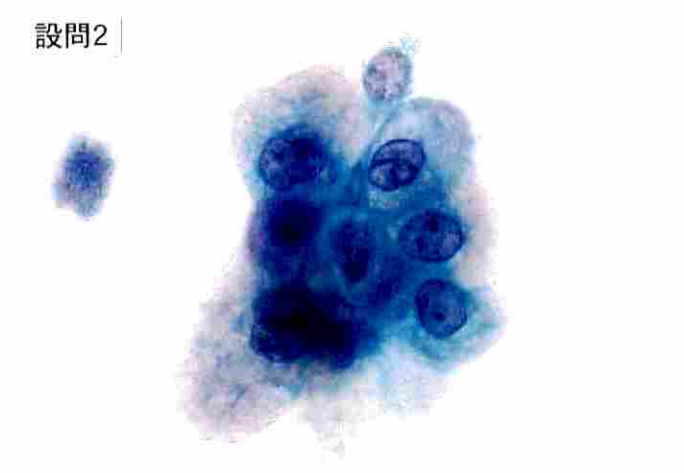
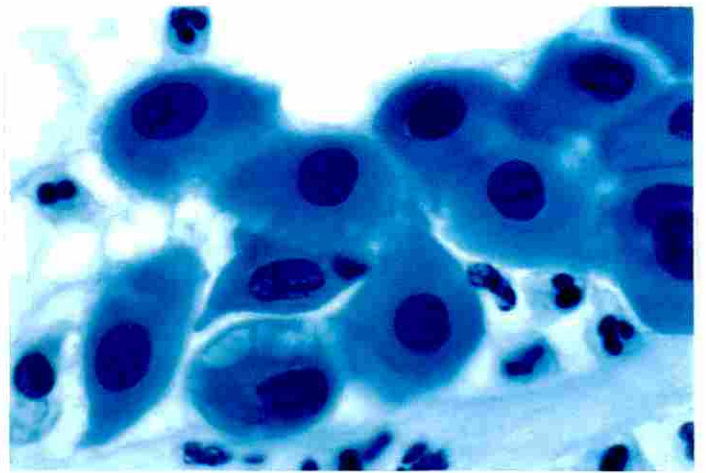
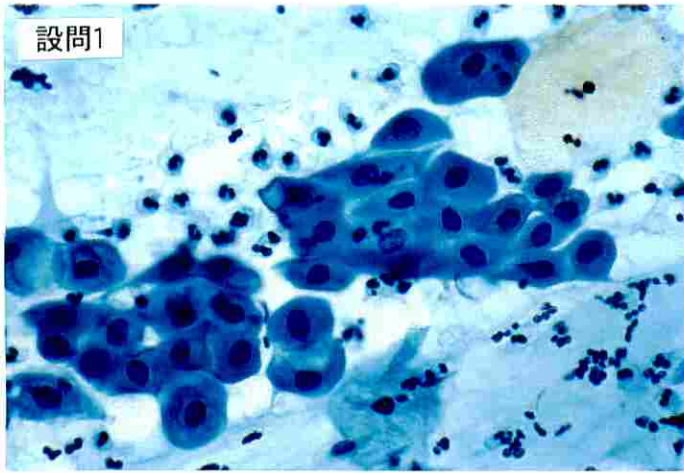
CT数	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人
施設数	(2)	(15)	(17)	(9)	(5)	(4)	(1)
正解数	5.5	6.85	6.53	7.44	7.17	6.33	8

表3、細胞診指導医の勤務状況

		常勤		
		未記入	いない	いる
非常勤	未記入	7		15
	いない		9	3
	いる	17	6	6

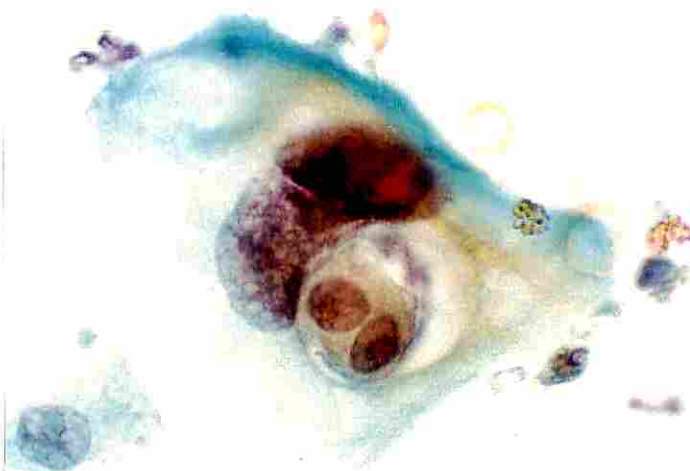
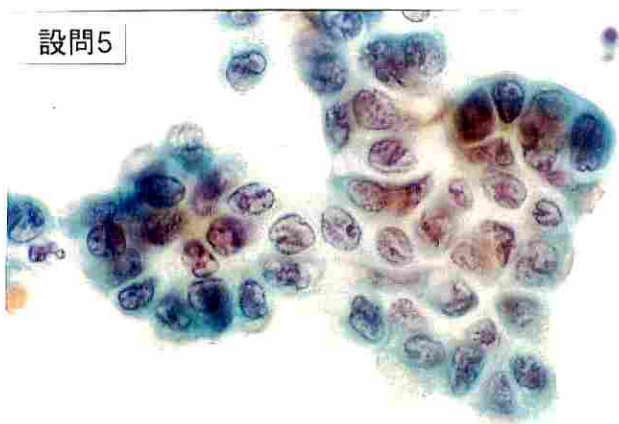
施設数 (計53)

# 細胞検査フォトサーベイ

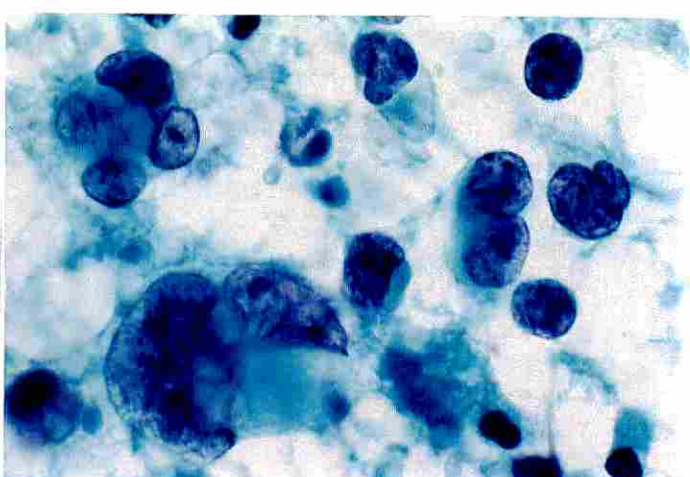
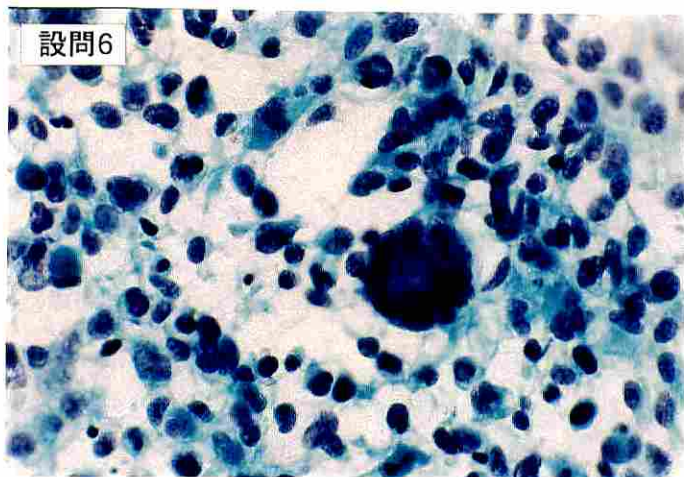


# 細胞検査フォトサーベイ

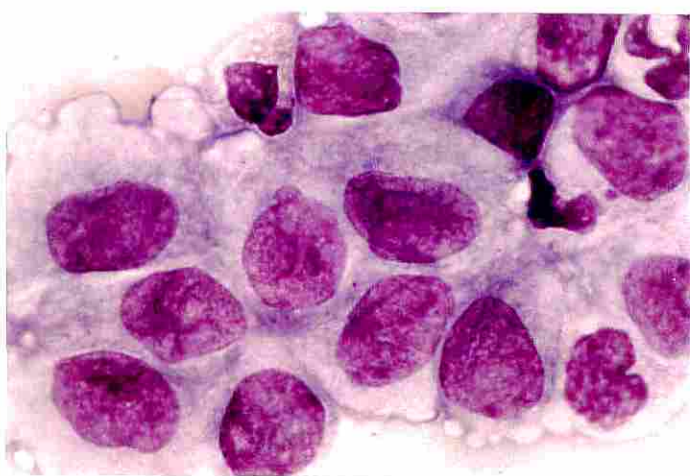
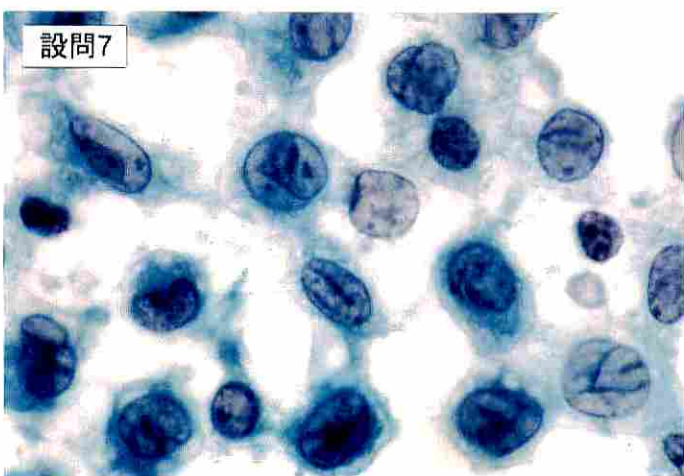
設問5



設問6



設問7



設問8

